

科目名 クラス 講義区分
共通教養特別講義－日本語を考える <秋>
【教員氏名】 友沢 昭江 【単位数】 2 単位 【演習概要】 「Cool Japan」の中心をなす「日本語ブーム」を背景に日本語関連の書籍やメディアによる取り上げも盛況です。外国人にとっても魅力あるコンテンツとして、日本語を空気のように当たり前として見てきた私たちも日本語についてしっかりと考えてみることは必要だと思われます。この授業では毎回テーマを決めて日本語を観察し、新たな発見につなげます。身近すぎる日本語が対象なので、履修する学生のみなさんにも意見を述べてもらおうと考えています。 【学習目標】 共通教養科目であるため、すべての学部にあたる履修生が考えられるので、日本語の「これまで」と「今」そして「これから」をおおまかにとらえることを目標とします。身近な材料である日本語を「分析的に考察する」ことができることを目指します。そのために具体的な事例や映像資料などを多く用いて関心を維持できるように考えています。授業で用いたパワーポイント資料は S ドライブの教員のフォルダーに掲載して、復習ができるようにします。 【講義計画】 第 1 回：世界の言語の中の位置づけ（１）－日本語はどんな言語？ 第 2 回：世界の言語の中の位置づけ（２） 第 3 回：日本語の表記について（１）－漢字とかな 第 4 回：日本語の表記について（２）－和漢混交体と正書法 第 5 回：敬語はむずかしい？（１）－敬語って何？ 第 6 回：敬語はむずかしい？（２）－敬語の運命は？ 第 7 回：「標準語」と「方言」（１）－「標準語」っていつできたの？ 第 8 回：「標準語」と「方言」（２）－「大阪弁」ってきたない？ 第 9 回：男と女の日本語（１）－歴史編 第 10 回：男と女の日本語（２）－現代編 第 11 回：外来語の氾濫－「ダークカラーのレギンスならエレガントなミモレにもベスト！」って？？ 第 12 回：日本人と外国語－日本人は英語が下手？ 第 13 回：外国人もすなる日本語（１）－日本語は世界で学ばれている！ 第 14 回：外国人もすなる日本語（２）－外国人と日本語で話そう！ 第 15 回：多言語社会日本の未来 【成績評価の方法】 試験評価：70％ レポート：0％ 出席：30％ 受講者が多い場合は毎回の出席は取りません。替わりに適宜コメントシートを配布して、意見を書いてもらい、それを出席管理のデータとします。期末試験を行います。内容は授業に出席していればほぼ解答できるようなレベルになる予定です。 【参考文献】 決まった教科書は使わずに、パワーポイントによる資料提供、テレビ番組や DVD などを用いて、分かりやすい内容にします。各テーマに関する参考文献は講義中に適宜紹介します。 【準備学習の指示】 最近では難解な専門書ではなく、分かりやすい新書版でも日本語に関するものが多く出ているので、できれば事前に図書館でも一冊探して読んでおいてください。 【備考】 私語や途中退出などで他の学生の迷惑になるようなことは避けて下さい。身近な日本語に関する講義なので、受講生にも質問を投げかけて意見を述べてもらうので、その際には協力をしてください。